

わがチラ裏ブログより転載

<http://www.ma-2.com/blog1/>

ふちんかん

ナスカ

ナスカと言えば南米ペルー、地上絵で有名ですが…
本日の夕食の夏野菜：ナスにトマト、そしてジャガイモ
これは全て「ナス科」です。



初秋の果物 20160903

今日の買い物で、ナシ・モモ・ブドウを購入。
どれも安かったから買ったのだが、旬ということだ
ろう。
ナシは旬が短くなかなかこの3つがそろい踏みするこ
とは少ないように思う。

思えば地方地方でとれる果物を集めるとは贅沢な話で
ある。また変に外食グルメに散財するよりよほど豊かであるようにも感じる。



語呂合わせ

今日の買い物「ときはきたり」

とまと キュウリ ハム きゅうにゅう（牛乳） たまご リッツ

と、買い物リストの最初の一文字目を語呂合わせで覚えていった。

こういったことは好んでよくやる。語呂合わせをつくるのが楽しいからだろう。

今回は売り場の順になっているところも地味にポイントが高い。



独自ドメインのメールアドレスが簡単に

私は ma-2.com というドメインを取得し普段使いにしている。ほかにも ma2.pw や wbf.pw といったドメインも取得していて、それぞれに用途がある。これらのドメインは世界中で私(と私が許可した人間)しか使えないものである。

ma-2.com というドメインを取得したのが 2010 年だった。当時はまだ GoogleApps が無料だったので、それに乗っかってメール運用を始めた。その後自宅サーバーも開設したがメールサーバーは踏み台にされるとたいへんなので GoogleApps で継続運用することに決めた。

そうこうするうちに GoogleApps は有料となってしまった(既存利用者は無料のまま)。独自ドメインでメールを運用しようとするレンタルサーバーを借りて、ホームページやブログとセットで運用という形が一般的になった。

ところが最近になって、メール運用だけに特化したサービスが「お名前.com」からリリースされた。とくに宣伝では無いのでリンクも貼らないが、年額 500 円で独自ドメインのメールアドレスが無制限に取得できるというサービスだ。年間かかる費用としてはドメイン維持費(1200 ~ 1500 円くらい)とメール運用サービス費 500 円、つまり年 2000 円にも満たない額で、自分でつくったメールアドレスが使用できるということだ。

メールアドレスやホームページアドレスは何かと目につく機会が多い。また独自ドメインはリリースしない限りユニークな存在なので、今後も利用価値の高いアイテムだと思う。

ドメインの取得は早い者勝ちで、一人でいくつ所持してもかまわない(その分維持費がかかるが)。そのため少ない文字数や名字・地名などのドメイン名はおおかた刈り尽くされている。世界中で使われるトップレベルドメインである.comなどは、セカンドレベルドメインが「ma-2」のように4文字のものですらかなり空きが少なくなっている。逆に新しいトップレベルドメインである.pwとか.bizなどはまだ3文字ドメインも取れることがある。

WOOでは、かなり以前から WOO.jp というアドレスを取得し維持している。これは先見の明があったと言えるだろう。



中華な通販サイトを利用

中国の通販サイトを利用して買い物してみた。とにかく安いのと送料無料というのが良い。

1回目は試しにスマホのタッチペンを買ってみた。思ったより速く、1週間程度で到着したのだが、2回目の今回のブツは恐ろしく時間がかかった。

発注、支払いをPAYPALで済ませたのが6/30。

そこからなぜかオランダ郵便？経由で到着したのが、7/26！

完全に紛失モードかと思っていたのだが、1カ月間近くかかって到着。

…途中で何があったのか、32Gのメモリを注文したはずが64Gになっていた。

頸椎症性神経根症

首の骨(頸椎)の間が狭くなり、神経を圧迫する頸椎症性神経根症を6月に発症。

はじめはやたら右肩が凝るなあという現象から始まり、次に右手人差し指のしびれ、そして右肘周辺の耐えられない痛みと短期間でどんどん症状が悪化していった。一番ひどいときは、痛みで夜も一時間おきに目が覚めてろくに眠れず、昼もときに涙を流すほどの疼痛に襲われた。

なんとか時間を作り医者に行った。手術をするほどのものではないので(特に首なので)、服薬と首の牽引というオールドタイプのリハビリをすることになった。薬はきつい鎮痛剤や吐き気止め、胃薬・下剤など一日20錠以上飲む毎日であった。

別件で職場でスズメバチに刺されるという事件もあり、「ことわざ」にある「泣きっ面に蜂」を地でやってしまった。

痛みは徐々に治まってきて、現在は薬も中断している。残った症状は右手人差し指のしびれだけになった。しかし物をつかむことはできるが、感覚が無いので不便である。

201609 追記 相変わらず右手人差し指のしびれが残っている。感覚が無いので気がついたら傷ができていたということがある…でも痛くない(^^)

スマートウォッチフォン NO.1 D6

中華な通販業者から購入した中華製スマートウォッチ D6 が届いた。時計型をしたスマホ（android 端末）である。

多くのスマートウォッチや apple watch がスマホと連携して、スマホのサブモニターとして働くのに対して、こいつは単体で作動するタイプである（もちろんスマホとの連携もできる）。つまり通信 SIM を入れることで、スマホの代わりになるということだ。

スマホは多機能・高性能になると同時に大型化し、手で持ち続けたり胸ポケットに入れることができなくなった。いきおいカバンなどに入れて携帯することが多くなったため電話やメール・メッセージに対し、すぐに対応するという即時性を失ってしまった。その点、単体で作動するスマートウォッチは、腕に縛り付けている分、メッセージなどに即対応できる。

もちろん時計サイズなので、小さな画面、小さなバッテリーである。できることは限られているし、電池も持たない。それでも可搬性・即時性においてはスマホよりも明確に優れていると感じた。



この D1 はライブ壁紙が使えるので WatchMaker というアプリを使って、ネット上に公開されている様々な盤面(ウォッチフェイス) が使い放題となった。

一方で電池が半日持たず、時計として安心して使うことは現段階では無理。すでに対応策は打っているが当面は普通の腕時計と併用することにする。本末転倒だが時計ではなくやはり時計型のスマホなのだ。

スマートウォッチフォン KW88

KingWear 社の KW88 は、時計らしいラウンドデザイン（丸形）のスマートウォッチフォンである。ランチャーがかなり良くできていて(右表)、使いやすい。

D6 の課題であったバッテリーの持ちも、かろうじて一日持つ感じなので、現在私のメインスマホ&時計はこれになっている。

唯一残念なところはウォッチフェイスがダウンロードできない点だ。



	通用状況 	通信設定 	歩数計
	↑		
通知 メールやラインのメッセージやスケジュールなどが表示される	ウォッチフェイス 11種類から選択できる	アプリランチャー アプリの数によって数画面を上下スクロールする 	曲再生
	↓		
	天気 		

超小型スマホ 20160903

この夏はスマートウォッチフォンの実用実験をしていたわけだが、結果としては

- ・時計として使い物にならない
- ・スマホとしても不安

という、まあ現状の普及具合からしても当然の結果となった。

原因はバッテリーにつきる。スマホの機能を維持しつつ、時計の大きさに納めるには、バッテリーの能力やスマホの省電力がまだまだ時期尚早であるということなのだ。

スマートウォッチフォンの2台持ちも実験したが、充電の煩わしさや sim の交換や複



数所持が必須となり、いろいろと問題があった。

ということで次の段階、超小型スマホにチャレンジ。posh社のX S240のスペックは、RAM512M、ROM 4 G、CPU MT6572(DualCore) 1 G、aantutu10000 程度の低能力機だ。しかしスマートフォンにゲームや動画といった高負荷のコンテンツを求めない私としては十分である。

購入はamazonで8000円足らず。予備機も中華通販から\$40で購入した。

通信は、LTE ではないものの HSPA 規格はあり、FOMA プラスエリアでも電波をつかむ。実はここが重要である。国内キャリアで売られていない端末は、通信規格だけでなく周波数もきちんと調べないと地方で困ることになる。私の職場がそうで、機種によっては、屋外に出ると3 G 電波はつかむのだが、屋内に入るとダメダメという状況があった。これは 2000MHz の Band1 にしか対応していない機種のためである。周波数の小さい FOMA のプラスエリアの 800MHz（屈折性の高い電波）に対応している機種ならばこのような事態にはならない。

プチ改造

- ・その1 シール貼り付け

画面下のバック・ホーム・メニューキーの場所に、シールを貼り付けた。バックライトは点くのだが、物理的にシールを貼ることでキーの場所が常にわかるようになった。

- ・その2 ツートン機の作成

ヤフオクで sim 機能不能のジャンク品が 2000 円足らずだったので、落としてみた。バッテリーの予備と茶色の筐体がほしかったためである。ニコイチにしてツートン機の完成。

- ・その3 車内に簡単着脱

茶色のリアカバー部にマグネットを貼り、車の中に設置してある磁石式の小物止めに固定できるようにした。軽いので十分固定できる。



強引にスマートウォッチフォンを作ってしまった

どうしてもスマートウォッチフォンはバッテリーが持たない。そこで超小型スマートフォンにベルトを取り付け、ウォッチ型としてみた。スマホを取り付ける土台とベルトの素材は、建築現場用のマグネットバンドだ。本来は磁石に釘などを貼り付けて持ち運ぶためのものである。



こうして作った土台部分に、超小型スマホを取り付けた。ちなみに背面カバーが妙にカーブを描いているので外した状態（バッテリーむき出し）で取り付けた。

時刻を知ろうと思ったら画面をダブルタップしなくてはいけない。スマートウォッチフォンなら腕を動かすだけでスリープから復帰するのだが…。右腕に普通の腕時計が必要だな…。

なんかもう、ものすごくバカっぽくなってきた。さすがに3日で使用停止…

ウェアラブル…はるかに遠いな。

実はこの作業と並行して、Sony のスマートウォッチ SWR50 も使用中。これは androidwear という android 陣営の本家推奨のスマートウォッチ OS を搭載している。そのうち記事にするだろう。





猪名川観光 201608

この夏、職場のある猪名川町にある3カ所の観光？施設に行ってきた。

- ・その1 蕎麦打ち体験 道の駅「フレッシュパークいながわ そばの館」にて。

<http://www.eonet.ne.jp/~eki-inagawa/sobauchi.html>

一鉢 2100 円で、何人でも参加できる（私は娘二人と3人で体験した）。

道具やエプロンなど全て貸していただけるので、手ぶらでOKである。

5人前ほどのそばができあがり、基本は持ち帰りだが、追加 500 円でその場で食べることもできる(何人分でも 500 円)。

その2 木喰仏の見学

猪名川町天乳寺にて、木喰上人が残した木彫りの仏像を見学する。

木喰上人とは、穀物も食べない木喰という修行を修めた僧の総称らしい。そのひとり木喰明満上人さんが諸国放浪の途中に立ち寄って、仏像をつくっていったとのこと。wikiにも載っている。住職の話によると、伝承では、かなりの大男で、酒と温泉を愛する旅人であつたらしく、親しみを感じた。



・その3 多田銀銅山の坑道見学



教員の理科部会の研修として、九州大学と島根工科大学の先生に連れて行っていただいた。

公開していない坑道の一つに入った。膝を抱えてぎりぎり通れるようなところもあり、鉱脈と無関係の場所は本当に最小限の大きさしか掘っていないのだと分かった。時代によって技術の変化もあり、掘り方も違うということもよく分かった。昨年、一人で研修目的で行ったときは、看板からしか学べなかったわけだが、専門の先生に付いてお話を伺えたのは得難い体験だったと思う。

